

こども教育課



高梁市のICT教育について

ICT整備状況について

	H30	R2	R3	R4
GIGAネットワーク		9,500万		
GIGA充電保管庫		2,000万		
無線LAN整備	4,500万			
学習用PC（1,951台）		6,600万	600万	1,800万
電子黒板（120台）			2,900万	79万

ICT活用の現状について（令和5年度 全国学力学習状況調査）

5年生までに受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか。（出典：令和5年度全国学力・学習状況調査児童質問紙 小学校）

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
全国	28.2	34.2	23.9	9.8	3.7
岡山県	31.8	36.1	22.8	6.6	2.5
高梁市	37.1	37.1	18.2	5.0	2.5



あくまでも活用頻度であり「質」を直接担保するものではないが、活用度合いを全国的に比較できる数値として紹介

ICT活用の現状について（令和5年度 全国学力学習状況調査）

1、2年生のときに受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか。（出典：令和5年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙 中学校）

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
全国	28.1	33.0	26.4	9.6	2.7
岡山県	37.4	36.8	20.3	4.0	1.3
高梁市	41.3	44.4	11.9	1.9	0.0



ICT活用の現状について（令和5年度 全国学力学習状況調査）

児童1人1人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか。（出典：令和5年度全国学力・学習状況調査学校質問紙 小学校）

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上
全国	65.2	25.4	8.4
岡山県	78.5	17.6	3.9
高梁市	92.9	7.1	0.0



ICT活用の現状について（令和5年度 全国学力学習状況調査）

児童1人1人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか。（出典：令和5年度全国学力・学習状況調査学校質問紙 中学校）

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上
全国	62.6	24.1	11.0
岡山県	67.5	26.5	6.0
高梁市	100	0.0	0.0



県内でも先進的な市として県が発行する冊子や資料に本市の事例が多く掲載

家庭学習と授業の連動～1人1台端末を活用して～

岡山県教育庁高校教育課教育情報化推進室
岡山県教育庁義務教育課

○より実現しやすくなった家庭学習と授業の連動

GIGAスクール構想によって、全ての児童生徒に1人1台端末が整備され、授業における端末活用は、「慣れる」から「日常的な活用」の段階へと変化し、授業改善に端末が寄与することが増えてきています。

家庭学習においても、1人1台端末を持ち帰り、活用することで、「できること」が増え、家庭学習と授業を連動させやすくなります。

本資料では、「授業との連動」を意図した家庭学習を、1人1台端末等を活用してどのように実現していくかを紹介します。

○文部科学省の方針

文部科学省は「平常時から持ち帰ったICT端末等を活用した自宅等での学習を行うことは、家庭学習の質を向上させる観点や、臨時休業等の休業時における学びの継続を促進に役立つ観点からも有効である。」と示しています。

○教員・保護者・児童生徒の意識は…

端末を活用した家庭学習を実施していない学校や、まだ端末を活用した家庭学習に慣れていない学校では、次のような声がよく聞かれています。

教員

- ・端末を活用して、どのような家庭学習に取り組まなければならないのか。
- ・授業と端末を家庭学習をどう連動させればよいのだろうか。

保護者

- ・持って帰って帰ったら、修理負担は…。
- ・留守中の荷物が増えるのでは…。
- ・長時間使用や、学習に関係ないことに使わないかが心配。
- ・そもそも、どうして端末をもって帰って宿題をする必要があるのか。

児童生徒

- ・端末を持って帰って、何をすればいいのかな。でも、さっさと帰りたい。
- ・好きな動画サイトをたくさん観てもいいのかな。

まずは、「学校、家庭、児童生徒」間で、端末を持ち帰る意義や課題の具体例、ルール等を共有理解した上で、端末を活用した家庭学習を実現してみよう。

○GIGAスクール構想によって進化した授業と家庭学習環境

端末+クラウドを活用することで、授業における効率的なタイムマネジメントも可能となります。

授業 家庭学習 授業 家庭学習 授業 家庭学習

導入 展開 終末 導入 展開 終末 導入 展開 終末

間で共通理解しておくポイント

りに当たっては、保護者等の協力が得られるよう丁寧な説明

に伝える。

ーチャート等で分かりやす

タブレット端末持ち帰りに ついてのご案内

保護者の方へ

3. 授業でICT端末を活用する際の留意点（持ち帰る場合）

「持ち帰る」は、授業でICT端末を活用する際の留意点として、保護者の方へ説明する必要があります。

① 持ち帰る際の注意事項

- ・持ち帰る際は、授業でICT端末を活用する際の留意点として、保護者の方へ説明する必要があります。
- ・持ち帰る際は、授業でICT端末を活用する際の留意点として、保護者の方へ説明する必要があります。

保護者向けのパンフレットやFAQ等を作成しておくことも有効です。（高梁市教育委員会の事例）



「家庭学習と授業の連携～1人1台端末を活用して～ 岡山県教育庁高校教育課教育情報化推進室・義務教育課

教育時報

9 2022

特集 GIGAスクール構想のさらなる推進に向けて
～教育委員会及び各校の取組～



県立岡山南中学校



県立岡山南中学校



県立岡山南中学校



県立岡山南中学校

岡山県の最新教育情報を毎月お届け

令和4年度特設ページ

岡山県教育委員会 みんなで学んで、かがやく未来

家庭での端末利用の取組

高梁市教育委員会

当初家庭での端末利用については、緊急時のみの想定で、積極的に進めていませんでした。その理由は、メリットを活かすというより、家庭によるインターネット環境の差や端末の破損の増加懸念等、どちらかといえば、デメリットの方にウェイトを置いていたと思います。

しかし、準備を進めていく過程で、学校の利用のみを基本に推進していても、現実的な活用が実現できるのか、また、現実的に緊急時のみの準備を進めていて、緊

（小学校）自主「みんなが」

ことを問題にまドライブにあり、もいつでも自由る取組です。と、問題の Classroom のス宣伝し、また、児童は、その感に返事をすること、も仲間の存在をにがんばることです。

「教育時報」2022年9月号 岡山県教育委員会・岡山県教育広報協会

「教育時報」2023年11月号にも高梁市のICTの取組を掲載予定

高梁市のICT教育に関する基本的な方針

1. ICT活用を教職員にとってメリットと感じてもら
う支援（ナッジの活用）
2. こども教育課、教育総務課、ICT支援員との
シームレスな連携
3. 全国的に進んだ取組をさらに伸ばすために



「Society5.0の時代を生き抜く力」の育成
を目指す（高梁市教育大綱R3-7）



1 ICT活用を教職員にとってメリットと感じてもらう支援

【職員の研修】

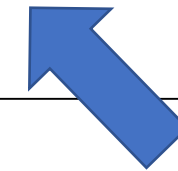
R3 まずは使ってみることで「ボロを出す」

R4 高梁市授業改革ICT総合研修（有識者を講師に迎えた研修）

4月 管理職対象（集合による研修）

5月 情報担当者・学力向上担当者等（オンライン）

8月 市内全教職員対象（集合）



改めてICT活用の必要性
についてマインドセット
を行う

1 ICT活用を教職員にとってメリットと感じてもらう支援 【学校DX通信】（ナッジの活用）

高梁市 学校DX通信
発行：高梁市DIGAスクールサポーター 2023年5月 第2号

1. 英語の4技能(特に「聞く」「話す」)を意識したICT活用例 〇先生

ICT活用事例レポート
高梁市立川上中学校 中2 英語

〇先生
6 級 (40分 - 50分) 1 時間以内 (ICT活用)

01. Quizlet (クイズレット) でウォーミングアップ
「高梁市 学校DX通信」第2号は、川上中学校の〇先生の実践事例を紹介します。
今回は、授業の流れをICT支援員の境さんに「グラフィックコーディング」でイラストをいわかりやすく図にしてもらいました！

02. デジタル教科書の音声で個々にシャドーイング
動画はこちら: <https://tinyurl.com/2nsh77ch>

03. Listen
動画はこちら: <https://tinyurl.com/2nsh77ch>

04. New Words
動画はこちら: <https://tinyurl.com/2nsh77ch>

05. Speak & Write
動画はこちら: <https://tinyurl.com/2nsh77ch>

06. Evaluation
動画はこちら: <https://tinyurl.com/2nsh77ch>

1. AI身体採寸「Bodygram (ボディグラム)」で健康意識を高める 保健委員会

川上中学校では、「Bodygram (ボディグラム)」という「AIで身体のサイズや体脂肪・筋肉量などを一瞬で測定できる」アプリを保健委員会で実験的に使用してみました。もともとはアパレルの採寸（学生服などでも使用されています）用に開発された画像解析AIですが、医療・健康増進にも利用が期待できるアプリです。

Bodygram
身体サイズを
紐解くことで、
生活をより豊かに

グラフで
変化がわかる

カラダの
傾きを分析

体重 14.3 kg
体脂肪 27 %
筋肉量 26.3 cm
骨密度 76.3 cm
ヒップ 62.3 cm

※ナッジ理論・・・（行動経済学）行動を制限したり強要せずにとちょっとしたきっかけを与え、本人が無意識により選択をするように誘導すること

3. 速報! 〇先生、ついにオクリンクデビュー!(福地小学校)

〇先生が、ついにオクリンク デビューされました。まだまだ使いこなせていないという先生や、この春に異動してきて、オクリンクなどミライシード のアプリはまだ使えていないという先生もいらっしゃると思いますが、ぜひ赤木先生を見習って (?) チャレンジしてみてください。また、小規模校であっても、中学・高校と進学すると、オクリンクやジャムボードのような協働学習アプリを使用するシーンは確実に増えるので、小学校段階でも慣れておくことは必要かと思ひます。



2 こども教育課、教育総務課、ICT支援員とのシームレスな連携 【教育委員会⇔ICT支援員⇔各校管理職・情報担当者等】



学校の担当者間で好事例を共有したり、学校の困りごとに関係者間でアイデアを出したり等様々活用



3 全国的に進んだ取組をさらに伸ばすために

学校情報化認定「優良校」の積極的な取得



教育の情報化に総合的に取り組み、情報化によって教育の質の向上を実現している学校を認定する。
(日本教育工学協会)



現在 小学校8校 中学校2校が
認定

3 全国的に進んだ取組をさらに伸ばすために

付けたい力を意識した「総合的な学習の時間」の改善
(探究的な学び・P B L)



付けたい力（資質・能力）を明確にした取組に学校全体で取り組めるよう支援することで、元々親和性の高いI C Tの利活用の促進と学校のカリキュラムマネジメント力を高めることを狙う。



3 全国的に進んだ取組をさらに伸ばすために

高梁探究学習ラボ



「探究的な学習」に役に立つ情報発信や、高梁市内の小中、高等学校、大学で行われている事例を紹介するページを開設

「総合的な学習の時間」で取り組む内容（学校、学年ごと）を一覧にして共有するシートも活用



課題

1. 学校間による差を埋めるための教育委員会事務局を含めたマンパワーの不足 → **A I 含めた業務の効率化**
2. 人事異動による指導力の低下（環境の違い、若手教員の早期異動等） → **人事関係部署と緊密な連携**
3. アプリケーション更新、端末更新、ネットワーク改修（ゼロトラスト等）にかかる費用